

2 施工管理編 主な改正点

[2]土木工事施工管理基準

土木工事施工管理基準

条	項	工種	改訂内容	備考
7	2	3次元データによる出来形管理	新規追加	
	3	施工箇所が点在する工事	新規追加	
運用方針			削除	

1. 工程管理 (岡山県独自)

条	項	工種	改訂内容	備考
1	1	対象金額の変更	2か月に1回1,500万円→3,000万円 2回目からの省略500万円→1,000万円	岡山県R2年度改定
2	1	記入要領	工種を明記	
	2	記入要領	変更時を追記	

2. 出来形管理基準及び規格値 主な改正点

編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
全体				3次元計測技術及び3次元データによる出来形管理について追記		
1	2	3,4		土工	(面管理の場合)を新規追加	
3	2	3	9	区画線工(溶融式カー塗装)	区画線工(溶融式カー塗装)を新規追加	
3	2	3	10	道路付属物工(防草シート)	道路付属物工(防草シート)を新規追加	
3	2	3		小段排水工(KH-1-1)	小段排水工(KH-1-1)を新規追加	
3	2	3		縦排水工(TH-1-0)	縦排水工(TH-1-1)を新規追加	
3	2	3		張コンクリート工	「張コンクリート工」を新規追加	
3	2	3		小段排水工(KH-1-1)	小段排水工(KH-1-2)を新規追加	
3	2	3		土工(遮水シート)	土工(遮水シート)を新規追加	
3	2	3		端止工	「端止工」を新規追加	
3	2	3		橋梁補修工(断面修復工)	橋梁補修工(断面修復工)を新規追加	
3	2	5	3	コンクリートブロック工	(天端コンクリート)を新規追加	
3	2	6	6	橋面防水工	「橋面防水工」を新規追加	
3	2	6	10	透水性舗装工(フィルター層)	透水性舗装工(フィルター層)を新規追加	
3	2	6		一般舗装工	(面管理の場合)を新規追加	
3	2	6	7~12	一般舗装工	測定基準欄に「ただし、幅は設計図書の測点…」を追記	
3	2	7	4	表層安定処理工	表層安定処理工(ICT施工の場合)を新規追加	
3	2	7	9	固結工	(スラリー攪拌工)を新規追加	
3	2	7	9	固結工	(中層混合処理)を新規追加	
3	2	12	1	鑄造費(金属支承工)	測定項目・規格値「ボス」の追記、測定基準欄に注意書きを追記	
3	2	14	2~4	植生工	測定基準欄に「ただし、計測手法については…」を追記	
3	2	14	3	吹付工	測定基準欄に「ただし、計測手法については…」を追記	
3	2	14	4	法枠工	測定基準欄に「計測手法については…」を追記	
3	2	16	3	浚渫船運転工(バックホウ浚渫船)	(面管理の場合)を新規追加	
10	2	12	5	ケーブル配管工(保護砂)	ケーブル配管工(保護砂)を新規追加	
10	4	5	10	支承工(ゴム支承)	支承中心間隔規格値に「±」を追記	
10	12	5	2	管路工(管路部)	管路工(管路部)を新規追加	
10	12	5	3	プレキャストボックス工(特殊部)(沈下マンホール)	プレキャストボックス工(特殊部)(沈下マンホール)を新規追加	
10	12	5	4	現場打ちボックス工(特殊部)	現場打ちボックス工(特殊部)を新規追加	
10	14	4	5	切削オーバーレイ	(面管理の場合)を新規追加	
11	1	7→8	3	標準マンホール工→現場打ちマンホール工	標準マンホール工→現場打ちマンホール工 に変更	以降節の番号変更

3. 品質管理基準及び規格値 主な改正点

工種	項目	試験区分	試験項目	改訂内容	備考
全体	試験方法欄－「舗装調査・試験法便覧」のページ変更				
	単位標記「m2」→「㎡」等の変更				
	摘要欄－小規模工事の規模を変更 ①「施工面積で10,000㎡未満」→「施工面積で1,000㎡以上10,000㎡未満」に変更 ②「使用する基層及び表層用混合物の総使用量が3,000t未満」→「総使用量が500t以上3,000t未満」に変更 「コンクリートでは1,000㎡未満→コンクリートでは400㎡以上1,000㎡未満」に変更。				
1 セメント・コンクリート(転圧コンクリート・コンクリートダム・覆工コンクリート・吹付けコンクリートを除く)	施工後試験	その他	配筋状態及びかぶり 強度測定	(平成24年3月国土交通省大臣官房技術調査課)を削除し、「微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領・解説」のみの表記	
7 下層路盤	材料	必須 その他	全て	小規模工事の範囲を変更	
8 下層路盤	材料	必須 その他	全て	小規模工事の範囲を変更	
10 セメント安定処理路盤	材料	必須	全て	小規模工事の範囲を変更	
11 アスファルト舗装	材料	必須 その他	全て	小規模工事の範囲を変更	
	プラント	必須	全て	小規模工事の範囲を変更	
12 転圧コンクリート	材料	必須	ランマー突き固め試験	試験方法を新規追加	
13 グースアスファルト舗装	材料	必須 その他	全て	小規模工事の範囲を変更	
	プラント	必須	全て	小規模工事の範囲を変更	
17 アンカー工	施行	必須	モルタルのフロー値試験	JIS R 5201→JSCE-F 521-2018に変更	
22 海岸土工	施行	必須	現場密度の測定	3孔の「平均値」→「最低値」へ変更	
23 砂防土工	施行	必須	現場密度の測定	3孔の「平均値」→「最低値」へ変更	
38.鉄筋挿入工	施行	必須 その他	新規追加		
下水道工事					
管布設工(開削)	管きょ材料(下水道用ポリエチレン管)		新規追加		
	管きょ材料(下水道用ボックスカルバート)		試験項目「コンクリートの圧縮強度」、「曲げ強度試験」、「接合部の水密性試験」を新規追加 試験基準(2)新規追記		
	管きょ材料(下水道用ダクタイル鋳鉄管)		試験基準追記		
管推進工	管きょ材料(下水道推進工法用レジンコンクリート管)		試験項目「継手部水密性試験」、「管体内水圧試験」を新規追加 試験基準(2)新規追記		

4. 写真管理基準(案) 主な改正点

改定箇所	条	枝番	改定内容	備考
●写真管理基準(案)				
(撮影)	3	(3)	「情報化施工及び3次元データによる施工管理」について追記	
(撮影の仕様)	6	(2)	「縦横比」の表記を削除	
	6	(3,4)	「映像と読み替える場合」を新規追記	
(工事写真の提出部数及び形式)	9	(2)	追記	
(工事写真の整理方法)	10	(1)	「参考資料」について追記、「提出頻度」の記載を削除	
(留意事項)	11	(2)	削除	
(その他)	12.	(3)	記載内容見直し	
●別添「フィルムカメラを使用した場合の写真管理基準(案)」				
(撮影)	3	(3)	「情報化施工及び3次元データによる施工管理」について追記	

撮影箇所一覧表

表全体: 「提出頻度」の欄を削除

●全体

区分	写真管理項目	改訂内容	備考
施工状況	図面との不一致	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」を追記	

●品質管理

工種	撮影項目	改訂内容	備考
11.路床安定処理工 12.表層安定処理工 15.補強土壁工 18.19.河川・海岸土工 20.砂防土工 21.道路土工	現場密度の測定	「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」による場合を追記	
34. 中層混合処理	テーブルフロー試験	新規追加	
	土の一軸圧縮試験	新規追加	
38. 砂防ソイルセメント(転圧タイプ)	ふるい分け試験(粒度試験)	新規追加	
	含水比試験	新規追加	
	現場密度の測定	新規追加	
	圧縮強度試験	新規追加	
	六価クロム溶出試験	新規追加	
39. 砂防ソイルセメント(流動タイプ)	含水比試験	新規追加	
	密度試験(セメントミルク密度)	新規追加	
	圧縮強度試験	新規追加	
	六価クロム溶出試験	新規追加	

●出来高管理

工種	編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
第1編 共通編	1	2	3	2	掘削工	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」を追記	
	1	2	3	3	盛土工	「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」について追記	
	1	2	4	2	掘削工	「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」を追記	
	1	2	4	3,4	路体盛土工 路床盛土工	「TS・GNSSを用いた盛土の締固め管理要領」、「3次元計測技術を用いた出来形管理要領(案)」について追記	

●出来高管理

工種	編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
第3編 土木工事共通編	3	2	3	14	プレキャストセグメント 主桁組立→製作工	「外面の形状」→「断面の外形」、 「組立時」→「制作後」へ変更	
	3	2	3	28	プレキャストカルバート 工	[埋戻し前]を追記	
	3	2	3	32	小段排水工 (KH-1-1)	新規追加	
	3	2	3	33	縦排水工 (TH-1-1)	新規追加	
	3	2	3	34	張コンクリート工	新規追加	
	3	2	3	35	小段排水工 (KH-1-2)	新規追加	
	3	2	3	36	端止工	新規追加	
	3	2	4	3	基礎工護岸(プレキャスト)	40m→200mに変更	
	3	2	5	3	コンクリートブロック工 (天端コンクリート)	新規追加	
	3	2	6	7	アスファルト舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工) (基層工) (表層工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	8	半たわみ性舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	9	排水性舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定 処理工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	10	透水性舗装工(路盤工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	10	透水性舗装工(表層工)	「平坦性」を削除	
	3	2	6	10	透水性舗装工 (フィルター層)	新規追加	
	3	2	6	11	グースアスファルト舗装工 (加熱アスファルト安定	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	12	コンクリート舗装工 (下層路盤工) (粒度調整路盤工) (セメント(石灰・瀝青)安定 処理工) (アスファルト中間層) 工(コンクリート舗装版工) (転圧コンクリート版工) (連続鉄筋コンクリート舗装工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	13	薄層カラー舗装工 (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工) (基層工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	14	ブロック舗装工 (下層路盤工) (上層路盤工) (加熱アスファルト安定処理工)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	3	2	6	15	路面切削工	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
3	2	7	9	固結工 (スラリー攪拌工) (中層混合処理)	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記		
3	2	10	22	法面吹付工	新規追加		
3	2	14	4	法枠工	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記		
第6編 河川編	第4編→第6編に変更						
第7編 河川海岸編	第5編→第7編に変更						
第8編 砂防編	第6編→第8編に変更						
第9編 ダム編	第7編→第9編に変更						

●出来高管理

工種	編	章	節	条	工種	改訂内容	備考
第10編 道路編	第8編→第10編に変更						
	10	2	12	5	ケーブル配管工 (保護砂)	新規追加	
	10	3	6	8	橋台躯体工	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
	10	3	7	9	橋脚躯体工	「3次元計測技術を用いた出来形 管理要領(案)」を追記	
第11編 下水道編	第9編→第11編に変更						
	11	1	7→8	3	標準マンホール工→現 場打ちマンホール工	標準マンホール工→現場打ちマ ンホール工 に変更	
	以降、節番号を変更						
その他	トンネル(矢板工法)				矢板設置状況 [掘削中]→[設置後]へ変更		
	トンネル(矢板工法)				グラウト材料使用量 [設置後]→[使用前後]へ変更		

5.ロックボルトの引抜試験
変更なし

6. RI計器を用いた盛土の締固め管理要領(案)
変更なし

7.塗膜厚の評価基準(案)
変更なし

[3]コンクリート関係基準

変更なし

[4]プレキャスト製品の確認要領

2. プレキャスト製品の確認要領

日本工業規格→日本産業規格 へ変更

コンクリート製品技術協会規格及び岡山県農林土木コンクリート製品技術協会規格→岡山県エ
ココンクリート製品共同組合 へ変更

[5]保安施設設置基準

工事標示板を一部変更

工事情報看板、工事説明看板を一部変更

看板の記述内容表を一部変更

[6]建設副産物関係

変更なし

[7]建設工事に伴う騒音振動対策技術指針

変更なし

[8]施工表示板設置要領及び官民境界線杭の設置要領

変更なし

[9]舗装路面のすべり抵抗測定法

変更なし

[10]土工用水砕スラグの施工管理要領

主要な変更なし

[11]薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針

変更なし

[12]舗装路面の平坦性測定方法

変更なし

[13]土木工事安全施工技術指針

土木工事安全施工技術指針(令和2年3月→令和4年2月版へ変更)

[14]建設工事公衆災害防止対策要綱

変更なし

[15]微破壊・非破壊試験によるコンクリート構造物の強度測定要領

変更なし

[16]非破壊試験によるコンクリート構造物中の配筋状態及びかぶり測定要領
変更なし

[17]超音波パルス反射法によるアンカーボルト長さ測定要領(案)
変更なし

3 電気通信設備工事編

国土交通省 電気通信設備工事共通仕様書 「令和2年3月」→「令和3年3月」に変更